

■ 参考資料

目もとの美容にオススメ近赤外線カット

http://www.aigan.co.jp/i_and_eye_bihada/chapter01.html

● 最近注目の「近赤外線」が皮膚に与える影響とは

顔の皮膚は薄く、特に目の周りはシワやたるみが出やすい箇所であり、年齢を感じやすい場所です。そのシワやたるみが出るもっとも大きな原因は、太陽光と考えられます。紫外線の UV-B は角層から表皮近くまで届き、シミやそばかすの原因になります。UV-A はコラーゲンとエラスチンが肌細胞を支えている真皮まで届くため、シミだけでなくシワの原因にもなります。さらに最近の研究では、紫外線より波長の長い近赤外線が、真皮や皮下組織の奥にある筋膜や筋層にまで届くために、シワ、たるみの原因になっているということがわかってきました。

https://www.atpress.ne.jp/releases/146536/img_146536_17.jpg

目の健康に影響を与えるといわれる HEV

http://www.aigan.co.jp/i_and_eye/chapter01.html

● 紫外線と HEV(波長 400~420nm の高エネルギー可視光線)が眼に与える影響とは

眼も肌と同様に、有害光線からのダメージを受けています。有害光線というと紫外線のことだと思われがちですが、実は紫外線だけでなく可視光線と言われている 400~420nm(ナノメートル)の HEV も目に影響を与えています。特に眼は露出した器官なので、他の臓器よりも直接的な影響を受けやすい部分でもあります。最適なケアを行うために有害光線が眼に対してどれほど影響を及ぼすのかを知ることが重要です。

1. 紫外線や、HEV、ブルーライトをルテインがブロック

https://www.atpress.ne.jp/releases/146536/img_146536_18.jpg

2. しかし、過剰に浴びたり、年齢を重ねる事で酸化ストレスが発生

https://www.atpress.ne.jp/releases/146536/img_146536_19.jpg

3. 酸化ストレスによりルテインが減少し、様々な眼病の原因になります

https://www.atpress.ne.jp/releases/146536/img_146536_20.jpg